

62

だれもが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

町民意識調査から③

町では、2009（平成21）年11月に山都町人権・「同和」教育に関する町民意識調査を実施しました。これまでに調査結果の一部を紹介してきましたが、今回は、意識調査に寄せられたいくつかのご意見について紹介します。



季節のうた

▼清和短歌会から

栄光の笑顔と涙の偉大さよ五輪の容姿に眼はなれず
 屋根瓦向きは違ひて夫々にうからを抱きて生計をみつ
 り
 連れあいを亡くせし友の嘆く見る老いの別れはひと
 しほ
 藤島みつ
 平川竜
 梅田市子

▼馬見原酔山会

花冷えの市となりけり今年また
春荒に流るる木の葉遡り
仕舞い終え夫とほうばる雛あられ

高田ゆかり
長谷野澄博
岩永周子

▼やまなみの会

介添えは娘と孫二人の高着に依頼し帰るも眠りにつ
けず 渡辺豊久
軒先につらら下がりし大小の研き澄まされし刃に似
たり 木下スエオ
タスキ渡し仲間胸に倒れ込む駆伝選手の姿勢し
浅き春後生大事に送る日々 古閑比奈子
猫の恋忘れし猫を抱いて寝る 赤星たづえ
水源のほとりに咲けるしだれ梅 本田七郎
天崎信恵
迎潤句会
伽羅路を煮つめ厨の夜を閉づる 菊池幸子

▼通潤句会

伽羅路を煮つめ厨の夜を閉づる

5月の当番医

5月2日 瀬戸病院 (電話75-0111)
5月9日 蘇陽病院 (電話83-1122)
5月16日 高田整形外科クリニック(電話72-1007)
5月23日 坂本クリニック(電話72-0210)
5月30日 伴病院 (電話72-0029)

山都町の人口

〔平成22年3月31日現在〕

男	8, 8 4 7人 (-42)
女	9, 4 7 7人 (-43)
計	1 8, 3 2 4人 (-85)
世帯	6, 7 6 6戸 (-12)

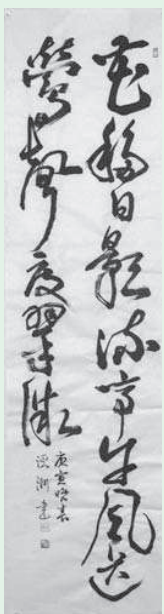
※（ ）は前月比
※最高齢は104歳〔女性1人〕
※1月1日～3月31日の出生届数
24人〔うち3月は7人〕
※1月1日～3月31日の死亡届数
83人〔うち3月は28人〕

通学の安全を守るために



山下教育長から山下歩夢くんに渡されました。

■書道



和光教室書道部の大塚憲一さん（大平）作

Q そっとしておけば部落差別はなくなるのではないですか？

A 「同和」教育の重要性が広く認識されてきており、『同和』教育をもっと推進させてほしい』または『同和』教育によって差別のない町にしたい』といった意見が数多く寄せられました。しかし、『そつとしておけば『同和』問題は自然に解決するのではないか、教えるから差別が広がるのではないか』という意見もありました。いわゆる「寝た子を起こすな」という考え方ですが、本当にそつとしておけば差別は自然になくなるのでしょうか。

Q 風習と人権問題にどんな関係があるのですか？

うことがいえます。

そのため、純白な心に部落差別の不条理について正しく教えること、つまり「正しく起こす」ことが必要になってきます。正しく教えることによって、純白な心からは差別に対する嫌悪感や怒りが生まれ、差別をなくすための行動につながるものと考えられます。

A 今回の意識調査の中に、『大安』の日に結婚式をあげるといふ風習、

A 今回の意識調査の中に、『大安』の日に結婚式をあげるという風習、『友引』の日に葬式をしてはいけないという風習』など、身のまわりの風習についてどう思いますかといった質問を設けました。この質問に対して、「人権問題とどういった関係があるのか」という疑問が寄せられました。

5・23差別をなくす 山都地区集会

【第15回】

- 日程 2010年5月22日(土)
- | | |
|--------|--|
| 8時45分 | アトラクション(矢響太鼓) |
| 9時00分 | 開会(うたごえ)、主催・共催
団体代表挨拶、問題提起、決意表
明、集会、宣言、スローガン採
択 |
| 11時00分 | 閉会(うたごえ) |

●場所 山都町立矢部中学校体育館

※たくさんの方のご参加をお待ちしています。

理由があげられます。つまり、それが正しいことなのかを自分では判断していないのです。自分で判断しないということは、たとえば、根も葉もない噂話をそのまま信じてしまうことと同じように、誤った情報であっても正しい知識として自分の中に取り入れてしまい、ひいては、「同和」地区に對するまちがった考え方を受け入れてしまうように、部落差別を残す温床ともなりかねません。

このように、いま私たちに求められているのは、暮らしの中の不合理な考え方に気づき、自分の行動によって変えていくことではないでしょうか。暮らしの中の不合理な考え方を改めていくことは、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことにつながるものと考えられます。

後記 編集

ドの日向往環歴史ウォークでの、ガイドのみなさんが恐れ入りました。聞けば何度も勉強会を開いて臨まれたとのこと。どのガイドさんでも、表現の違いはあれど、わかりやすくて確な説明。さらに凝った衣装まで準備されていて、参加者に対するもてなしの心が表れていました。

新年度がスタートして、高校無償化や子ども手当制度、コメ農家の戸別所得補償制度など新たな制度が始まりました。

山都町役場も異動後の新体制で22年度予算に計上した事業を推進していきます。広報やまと担当は変わらず頑張ります。今年度もよろしく願います。

(F)